

# 第1学年 特別活動学習指導案

日時 平成16年9月30日(木)3校時  
場所 マルチメディア室  
学級 1学年 男子45名 女子30名 計75名  
指導者 教諭 佐々木敦美 奥平直子 久保木賢

## 1 題材名 「働く人々に学ぶ」

### 2 題材設定の理由

#### (1) 題材について

進路の学習に関しては、1学期に「私たちの将来の希望」ということでお互いの夢を発表しあい、自分の希望にそった村内職場訪問学習を進めてきた。地域の中で働く人々の姿に接したり調査活動を通して、1年生なりの理解や職業観を少しずつ学習してきた。しかし、将来どんな職業に就き、どんな働き方をしようと思うのか十分考えるには至っていない生徒や、自分の希望にそわない職場を訪問した生徒も少なくない。

そこで、「働く人々に学ぶ」という題材で、さまざまな職場で働く人々の姿を調査する機会を1回でも多く与えることにより、働く人々の仕事や考えを知り、「働くこと」への理解を深め、職業選択能力の育成や職業観の形成を図っていききたい。

#### (2) 生徒の実態

明るく元気で、授業の挨拶を大きな声で行い、全体的に素直で何事にもがんばろうという気持ちがある。村内職場訪問の取り組みに興味・関心を持ち、マナーを守りながら取材し、自分の将来の参考にしようとする気持ちを持って活動できた。インタビュー項目に自分達で予想をたて検証する楽しさも経験したり、お互いの役割を果たすことで仲間のよさを発見した生徒も少なくない。また、それぞれが調査活動で達成感を得たり、各事業所からの評価で自信を深めたり、学習内容を壁新聞でまとめる際には、次回の盛岡自主研修をも視野に入れ意気込みを述べるなど、職業や働くことに対する関心や理解を深めてきている生徒が増えてきた。

#### (3) 指導構想

今回の盛岡自主研修の大きな柱である進路学習は、職業観を広げようと岩手県の県庁所在地である盛岡で行うことにし、九戸村内で訪問した職場以外の職種を優先的に選択した。

学習グループについては、1学期の村内職場訪問では上記の通り、自分の夢や希望に沿った職場を選んだため学級の枠を取り外し、学年全体で取り組んできた。今回の盛岡職場訪問でも学年全体で学習を進め、お互いから学びあうのだという気持ちを育てたい。また、前回のように自分の将来の夢に沿った職場を訪問するとは限らずに、様々な職業についている人の姿を調査することで自分の視野を広げようと試みた。そして、その職業について働いている人の姿や考え方を、レポーターとしてお互いにしっかり伝えあえるよう調査していただくことで、使命感を持って進路の学習を進めていこうと考えた。

そこで、本時では、働く人々が自分の仕事についてどのように考え、どのように働いているかを知り職業観をより深めるため、「人はなぜ働くのか」に迫る質問を考える時間と位置付けた。グループの話し合いで、そのねらいに近づく質問を考えることが難しい場合、T2、T3がそのグループに入り支援しながら、どのグループも、ねらいにせまる質問を準備できるようにさせたい。

## 3 題材の評価規準

- (1) 働く人たちが、自分の仕事についてどのように考えどのように取り組んでいるかを知ろうとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 他の生徒の意見や考えを尊重し、人はなぜ働くのかを考えることができる。(思考・判断)
- (3) 働くことについて前時までに学習したことを活用し、考えることができる。(技能・表現)
- (4) 働くことの意義を知り、理解している。(知識・理解)

## 4 指導計画

- (1) 人はなぜ働くのかを考えよう 1時間
- (2) 訪問先の職場でインタビューすることを確認しあおう 1時間(本時)
- (3) 職場訪問学習発表会 1時間
- (4) 働く人々の仕事と考えをまとめよう 1時間
- 総合的な学習の時間で、「九戸と盛岡を比べよう」「職場訪問に向けての計画・準備」「職場訪問」「発表会準備」を行う。

5 事前の指導

- ・ 帰りの短学活 前時までに学習したことを個人ファイルにまとめる。

6 本時の指導

(1) ねらい

「人はなぜ働くのか」にせまる質問を考えさせる。

お互いにインタビュー内容を考えることによって、盛岡職場訪問のねらいをしっかりと理解させる。

(2) 展開

段 階	活 動 内 容	・ 指導上の留意点 評価の視点	資料等
導 入 5 分	1 前時の学習を振り返る。  2 学習課題を確認する。	・ 職業の3要素（経済性、社会性、個人性）を振り返るにあたり、それぞれの要素を教師が分担して抑えさせる。  ・ 本時のねらいを確認する。	・ 紙板書  ・ 紙板書
訪問先の職場でインタビューする内容を考えよう			
展 開 35 分	3 事前学習した内容をもとに、自分達のグループが訪問する職場でインタビューすることを考える。  4 各グループで考えた質問を、中間発表する。  5 中間発表を参考にして、自分達の質問を考える。	・ 教師が、インタビューする内容を例示して、参考に考える。  ・ 個人で考えたことを、グループ内で発表しあい、まとめる。  人はなぜ働くのかにせまるインタビュー項目を、真剣に考えようとする。（関心・意欲・態度）  ・ ねらいに迫る質問が出ているグループを紹介し、話し合いの手助けとする。  ・ ねらいに迫る質問がでないグループには、T2、T3が入り、支援する。	・ 学習シート ・マジック ・ 紙板書
終 末 10 分	6 紙板書を作って考えた質問を発表する。	・ 紙板書を作成し、発表する。 ・ お互いの質問内容を吟味し、ねらいに近づく質問内容か、考える。	・ 紙板書

7 事後の指導

- ・ 放課後 職場訪問に向けてのグループごとの学習のまとめ